

# 視察研修・研修会等報告書

議席番号〔 4 〕 議員名〔 高井範和 〕

1 年 月 日	令和8年2月3～4日（日数 2日）
2 場 所	京丹後市
3 視察・研修事項	総合交通施策、ささえあい交通
4 面 接 者	京丹後市 政策企画課 課長補佐 野木氏他 NPO 法人 気張る！ふるさと丹後町 専務理事 東氏
5 視察研修、研修会の成果	<p>京丹後市 政策企画課 課長補佐 野木氏他</p> <p>○京丹後市の公共交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す目標値：公共交通空白地の解消、高齢者片道 200 円レール</li> <li>→5年後の目標を数値で設定し、進捗を毎年把握していた</li> <li>路線バス、鉄道、市営デマンドバス、タクシー、予約型乗合タクシー、ライドシェアを6地域（旧6町）の事情に合わせて運行</li> </ul> <p>⇒予約・配車をシステムで行い、システム力を利用</p> <p>200円バスと200円レールの同一運賃の設定 （この取り組みは他自治体でもあり、わかりやすくよいと思う）</p> <p>路線バスは200円により利用者が増えたが、高校生が減りこれ以上は厳しい。安い運賃で大勢が乗ることで補助金の意義を理解してもらった</p> <p>鉄道は利用していない人に乗ってもらう工夫をした</p> <p>公共交通空白地の解消に向けて、様々な交通で運賃を工夫していた</p> <p>NPO法人 気張る！ふるさと丹後町 専務理事 東氏</p> <p>○Uberで配車しマイカーを使ったライドシェアについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立ち上げの経過、現状、今後について説明</li> <li>→国交省、京都府とともに短期間で立ち上げた</li> <li>Uberのシステム利用と改善の柔軟性</li> </ul> <p>⇒市営バス・民間バスが走る中で重複を避けささえあい交通を運行</p> <p>観光客の利用に対応（時間制の導入）</p> <p>クレジット払いと現金払いに対応など柔軟に対応していた</p> <p>過疎地は利用者が少なく、ドライバーの収入も少なくドライバーも減っている。これは交通空白の解消と相反して苦労していた</p> <p>行政と有志がタッグを組み、既存交通との整合を取り、料金体系を単純・同一化することが市民にとってシンプルで利用しやすい公共交通に繋がると思うし、やらなければならない</p>